

国内旅行も海外旅行も、世界最大級の総合旅行サイト・エクスペディア

海外で人気！でも日本では90%以上の人はまだ知らない！
最新旅行スタイル「ステイケーション」に関する調査結果を発表

「手軽に非日常を味わいたい人」や「ストレスが多い人」から高い利用意向

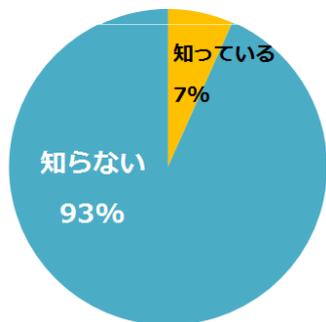
世界最大級の総合旅行サイト・エクスペディアの日本語サイト、エクスペディア・ジャパン(www.expedia.co.jp)は、2016年9月、東京都23区内に住む20代～60代、計600名を対象に海外で人気の「ステイケーション」に関する意識調査を実施いたしました。

ステイケーションってなに！？9割以上の人「知らない」と回答

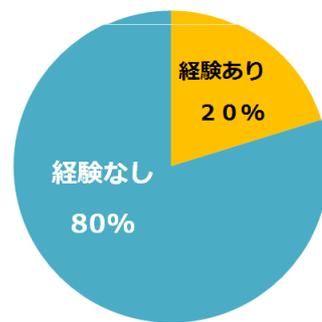
ステイケーション：遠出をするのではなく自宅近郊の宿泊施設に滞在(ステイ)して、気軽に楽しむバケーションのこと

ステイケーションとは、遠出をするのではなく、自宅近郊の宿泊施設に滞在(ステイ)して、楽しむバケーションのことを言います。例えば東京に住んでいる人なら、東京都内や横浜、舞浜など、電車等で気軽に行ける場所であえて宿泊し、気軽に楽しむ旅行のことを指します。昨今、海外で人気を集める新しい旅行の形態です。しかし「ステイケーションを知っているか」という問いに対し、日本ではまだ「知らない」人が90%以上という結果となりました。まだまだ認知度は低いようです。ステイケーションの意味を説明したうえで、経験の有無を聞いたところ、約20%の人が経験があると回答し、言葉は知らないけれど、経験がある人もいることがわかりました。

「ステイケーション」を知っていますか？



(意味を説明した上で)
「ステイケーション」の経験はありますか？

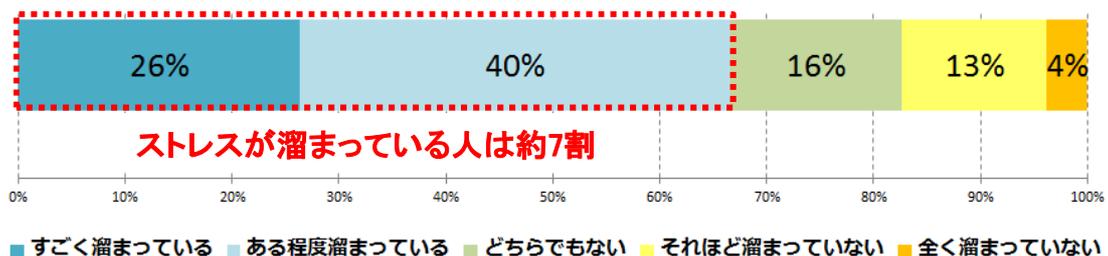


ステイケーション特集: <https://www.expedia.co.jp/g/lc/staycation>

ストレスが溜まっている人ほどステイケーション欲が高い！

今回の調査で、ステイケーションに興味を示した人に「ストレスが溜まっているか」という質問をしたところ、の約7割は、ストレスが「すごく溜まっている」、「ある程度溜まっている」と回答し、ストレスが溜まっている人ほどステイケーションを求めていることがわかりました。

「ステイケーション」利用意向者のストレス度



ステイケーション経験者も未経験者も、求めるのは「非日常感」

ステイケーションの経験者、及び未経験だけど興味のある人に「ステイケーションをする理由」「したい理由」を聞いたところ、いずれも「手軽に非日常を味わいたい」という回答が1位、「リラックスしたい」という回答が2位になりました。手軽に旅行気分を味わえ、非日常的な体験を自宅近くでできるステイケーションは日本でも今後需要が上がりそうです。

経験者の 「ステイケーション」をする理由ランキング	
1	手軽に非日常を味わいたい
2	リラックスしたい
3	楽に移動したい
4	美味しいご飯を食べたい
5	滞在したいホテルがあった

未経験者の 「ステイケーション」をしたい理由ランキング	
1	手軽に非日常を味わいたい
2	リラックスしたい
3	美味しいご飯を食べたい
4	楽に移動したい
5	贅沢な気分を味わいたい

ステイケーションの宿選びで大事なものは「夕食」

「ステイケーションの宿を決める上で重要なポイント」を聞いてみたところ、1位は「夕食」という結果になりました。美味しい夕食をホテルで食べて、そのまま宿泊できるという流れに需要があるようです。

またお手軽な旅行であるため「価格」も重要なポイントで2位に。そして非日常感を演出する「景色」が3位に入りました。4位の「寝心地の良いベッド」というのは「リラックスしたい」という需要の流れでできているようです。

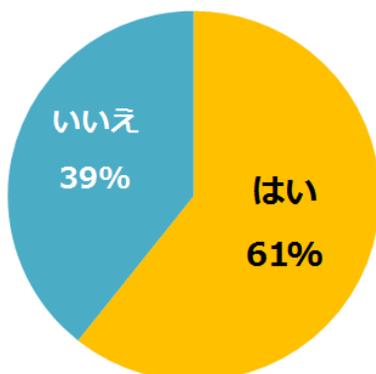
「ステイケーション」の宿を決める上で 重要なポイント ランキング	
1	夕食
2	価格
3	景色
4	寝心地の良いベッド
5	家からの距離

「お金がない」「休みが取れない」「予定が合わない」 日本人の約60%が旅行がしたくても断念した経験があることが判明

今回の調査で、6割以上の方が旅行がしたくても断念したことがあると回答。そして、その半数以上は、「お金に余裕がない」ことを理由にしていることが判明しました。

旅行には、渡航費や宿泊費、現地での移動費、観光や食事に使うお金など、様々な費用がかかってくる為、旅行したいと思っても予算が見合わないことが多くあります。しかし、今海外で人気のステイケーションは、自宅近くのホテルに宿泊する旅行の為、同じ旅行気分を味わうことはできますが、渡航費や観光、移動費などもほぼかかりません。そして、休みを取る必要が無いので、忙しい人にもおススメです。

旅行がしたくても断念した事がありますか？



どんな時に旅行を断念しますか？	
1	お金に余裕がない
2	休みが取れない
3	同行者との予定が合わない

ステイケーション で一番多い形はコレ！「配偶者」と「1泊」、「1万円以内で十分楽しめる」

「ステイケーション」経験者で一番多い回答は？

誰と行きましたか？



配偶者(40%)

何泊しましたか？

1泊

1泊(64%)

予算はいくらでしたか？



約1万円 (52%)

ステイケーション経験者に、ステイケーションをする際に、「誰と」「どれくらいの期間」「どれくらいの予算があれば十分に楽しめるか」を質問したところ上記の回答が一番多い結果となりました。一般的なステイケーションの楽しみ方は、「配偶者」と「1泊」、「1万円以内で」と言えそうです。

中には、一人でステイケーションを楽しみたい(25%)、10万円以上使う(2%)といった回答もみられ、一人でリラックスするために近場のホテルを利用したり、かなりリッチなステイケーションを楽しむ人もいることがわかりました。

現実的！「ステイケーション」を楽しめる東京近郊のおススメホテル

ホテルウイングインターナショナル
プレミアム東京四谷



2名1室 =
10,909円/泊



新宿グランベルホテル



2名1室 =
10,906円/泊

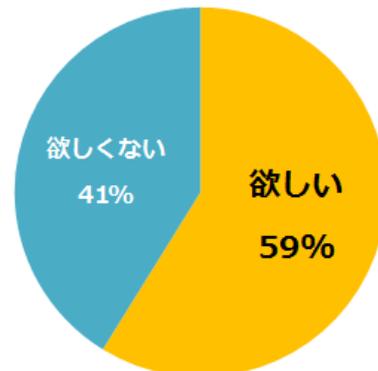


【番外編】ステイケーションは新しいプレゼントのカタチ？！
60%以上の女性がステイケーションをプレゼントされたら「嬉しい」

女性に対してステイケーションをプレゼントで欲しいか聞いたところ、約6割の女性が「欲しい」と回答する結果になりました。モノ消費からコト消費へと移る時代の中で、プレゼントでも新しい形として、「体験」をプレゼントされることに喜びを感じる女性が増えてきているようです。

今年のクリスマスは、天皇誕生日が金曜日なので、3連休の方も多いのではないのでしょうか。男性のみなさんは、今年のプレゼントにステイケーションを選んでみてはいかがですか？普段とは違うクリスマスが楽しめるかもしれません。

【女性限定】
「ステイケーション」をプレゼントで欲しいですか？



■アンケート概要

- サンプル数: 計600名
- 調査対象: 東京都23区内在住者
- 調査期間: 2016年9月
- 調査方法: インターネットリサーチ

客室のアップグレードや無料サービスが受けられる！ 世界のホテルによるVIP待遇プログラム「Expedia+」

エクスペディア独自のメンバープログラムで、「ポイントプログラム」と「ステータスプログラム」の2つの側面から「値段+αの付加価値」を提供します。

- ポイントプログラム: ポイントに応じて予約時に使用できるクーポン等を発行します。
- ステータスプログラム: ブルー、シルバー、ゴールドのランクに応じて様々なサービスが受けられます。

(例)+VIP Access 提携ホテル特典、会員限定のお得なプロモーション、予約でボーナスポイントを獲得 (+ゴールドは30%、+シルバーは10%)、優先カスタマーサービス、Expedia Local Expertコンシェルジュ限定の特典

■+VIP Access 提携ホテル:

Expedia+ 会員に厳選した特典を提供するホテルです。ポイント面でのメリットだけではなく、朝食、ワインやスパが無料になったり、客室がアップグレードされたりと、VIP待遇を受けられます。

■+VIP Access 提携ホテルのサービス例:



無料シャンパンボトル



無料スパ



無料フルーツバスケット



無料ミニバー

【参考】業界初！世界のホテルによる+VIPサービス

エクスペディアを含む日本の大手旅行代理店の殆どがポイントサービスを提供しています。その中で、ステータスプログラムとして、ステータスごとにポイント還元率やポイントでの自社負担の優遇が分かれているのは3社。さらに深堀りし、自社負担のポイントサービスだけでなく、世界中のホテルと共同でVIPサービスを提供しているのは、エクスペディアのみという事がわかります。

	大手旅行会社比較 (海外旅行)			
	ポイントプログラム	ステータスプログラム	サービスの内容	
			ポイント優遇	ホテルによるVIPサービス
Expedia	○	○	○	○
A社	○	○	○	×
B社	○	○	○	×
C社	○	×	—	—
D社	○	×	—	—

エクスペディア概要

エクスペディア(Expedia)は、世界33カ国で展開する世界最大級の総合旅行サイトです。400社以上の航空会社と、3万都市以上のホテルを取り扱っており、両者を組み合わせることで、1億通り以上ものツアーを提供することが可能です。エクスペディアの日本語サイト、エクスペディア・ジャパン(www.expedia.co.jp)では、ただコンテンツを日本語化するだけでなく、日本人向けの独自のインターフェースデザインの採用や、JCB・Visa・Master・AMEXなどの主要なクレジットカードによる決済、日本語による電話サポート(24時間年中無休)など、日本の旅行者の皆様が安心して使える環境も整備しています。

■ Twitter: http://twitter.com/Expedia_Japan

■ Facebook: <http://www.facebook.com/ExpediaJapan>

※Expedia およびエクスペディアのロゴは、米国 Expedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他の商品名、製品名、会社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。